

## Gymnocalycium berchtii *Neuhuber*

### 記述

Los Chañares 近くのタイプ生息地は、何年間も *G.berchtii* の唯一の知られている生息地でした。2005 年の私の旅行で、私たちは、その南東地域に、そして、ここ 2、3 年で、さらに二つの生息地を見つけることができました。 *G.berchtii* は、一般に承認されて、非常に特有の種です。

### 植物



記録：植物は、その根で、より深い地面に達するのに  
割れ目を使用します。 *G.berchtii* VoS170



記録： *G.berchtii* VoS170



記録：種は独特の外観で容易に区別可能です。  
*G.berchtii* VoS170



記録：刺の色は茶色から黒に異なります。  
*G.berchtii* VoS170

Neuhuber 氏の、*Gymnocalycium* 10 (3) 1997 での最初の記述に基づく。

#### ・胴体

体型；単幹

高さ/直径；20mm まで、/40-60mm

表皮；白い霜で覆った、鈍い、黒灰色、又は黒茶色、強い紫外線にさらされた時には、すみれ色の  
灰色

稜；(7)-9、平坦、殆どまっすぐ、下部に向かって広がる。その場合、直径 17-20mm

根；頑丈な根

刺の出方

刺座の形；楕円形

刺座の長さ；9-12 mm

刺；真っ直ぐ、まれにわずかに曲がる、細い、長さが 7-10mm、大抵、胴体に隣接し暗い茶色から黒色まで、先まで赤茶色あるいは明るい茶色、殆ど灰色にならない、

中刺；無し。



記録：G.berchtii VoS170 の乾燥した種子



記録：種子は、種子に密着した茶色っぽいクチクラを持ちます。



記録：ハイラムは水滴形状をしています。

## ・種子

果実

形状；棍棒形状

長さ/直径；21-42 mm / 9.5-20 mm

果実の色；熟したとき青色、めったに緑灰色とはならない。

特性；垂直に裂ける。

種子

形状；小さい

直径；1.2-1.4 mm

種子グループ；Gymnocalcium

## ・花

花形状；漏斗形状

長さ/直径；53-79 mm / 43-60 mm

花色；淡いバラ色から濁った白色、

花喉部は赤茶色

外花卉；ランセット形状、柔らかなバラ色の中筋が入る、外面中央は明るい緑色から明るいバラ色



記録：G.berchtii VoS170 の断面図

まで、時折、灰緑色の先端、根元は明るいバラ色、長さ 38mm まで、最も広い場所で、  
巾 9mm、根元で巾 4mm

内花弁；ランセット形状から不等辺四辺形、時々、幾分縷のある、螺鈿色、下部は、又明るい緑色、  
細いバラ色の中筋、根元はバラ色、長さ 25mm まで、最も巾の広い場所で巾 7.5mm、根元  
は巾 2mm

花糸；明るい黄色、長さ 8mm から 11mm、基礎列は 1 列から 2 列、短く、花柱に隣接する。

雄蕊；黄色、長さ 1.5mm、巾 0.6mm

花粉；黄色

花柱；長さ 12.9mm、直径 2mm

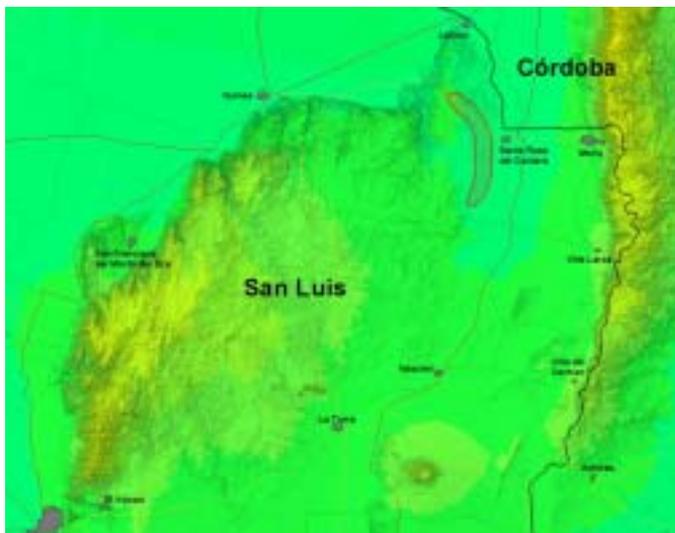
花柱色；明るい緑色、柱頭に向かって白くなる

柱頭；黄色、長さ 5mm、7 個から 9 個の柱頭裂片、中央に立っている。

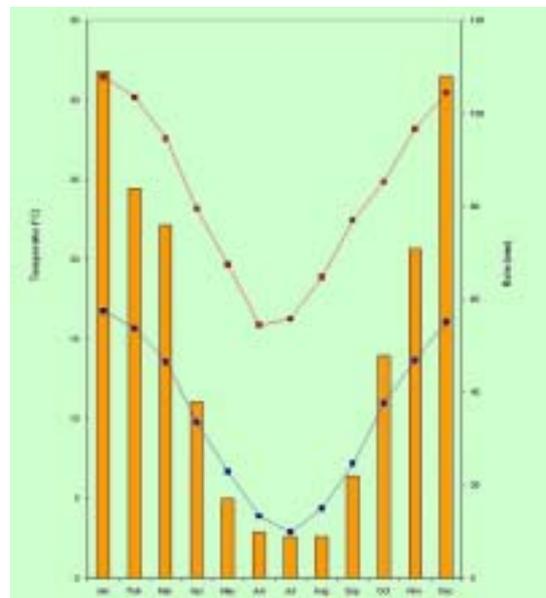
タイプ標本；アルゼンチン、San Luis 州、Los Chañares、海拔 670m、登録 1989 年 12 月 16 日、  
G.Neuhuber 氏、89-158（正基準標本（Holotypus）はウイーン大学（WU））

## 歴史

1989 年 12 月 16 日に、Gert Neuhuber 氏と Ludwig Bercht 氏は、二晩も続く激しい雷雨のため  
に彼らの旅行ルートを変更しなければなりませんでした。彼らは、San Luis 地方の北へ運転するこ  
と決めました。Arroyo del Chañar の流入している浅瀬を横切る間で、彼らはカンポで Echinopsis  
の白い花を偶然見つけました。そして、Bercht 氏は、最初にその地域に入り、彼にちなんで名付け  
られたギムノカリキウムを見つめました。Neuhuber 氏は、Gymnocalycium10(3)1997 : 217-220



記録：G.berchtii の新しい生息地は 2005 年と 2007 年の  
間に見つけられました。  
(地図は Mario Wick 博士からの提供)



記録：気候チャート(Mario Wick 博士提供)

で、その植物について記述しました。



記録 : G.berchtii VoS171 の生息地



記録 : G.berchtii VoS171



記録 : 種はめったに他の植物によって保護されない。

### 生息地

生息地は、サンルイス山脈(Sierras de San Luis)の北側山麓の丘の近くに位置しています。その場所は、部分的に風化された花崗岩スラブから成ります。植物は石の間でまたは上で育ちます。小さな広葉樹、低木、および草は、日陰の唯一の源です。

### 栽培

純粋に鉱物基質の日当たりのよい場所は、植物を良くするでしょう。その植物は、平坦に維持され、素晴らしい霜でおおわれた灰色がかった黒い表皮を発達させます。



記録 : この植物は 1999 年に播種された。  
G.berchtii LB1383



記録 : 花は白からピンク色、花喉はピンクを帯びた茶色

花は十分に咲き、種子を回収するのも問題はありません。冬の間、冷たい温度と完全な乾燥は賢明です。植物は地面の中に戻ります。

植物は、それほど速く生えませんが、容易な播種による増殖は問題ではありません。私の標本には、10年後に、4cm の直径になったものがあります。

※ Volker Schädlich 氏のホームページ "Die Gattung Gymnocalycium" <http://www.gymnos.de/> の中の Gymnos from A to Z からの翻訳で、Volker Schädlich 氏の好意により、翻訳の掲載許可を頂いています。無断転載を禁止します。